

# やんしき踊り 桜に映え

## 鯖江保存協会が野外研修



桜吹雪が舞う中、遊歩道を踊り流す「やんしき保存協会」の会員たち=3日、鯖江市有定町2丁目

鯖江市の市指定無形民俗文化財「やんしき踊り」の野外研修が3日、同市有定町2丁目の日野川堤防遊歩道などで行われた。桜吹雪が舞う中、やんしき保存協会の会員約40人が、そろいの編み笠と着物で気持ちよく踊り流した。

のぼり旗を立てた遊歩道約160坪の間を、唄と太鼓、鉦の音色に合わせて2列になって往復。桜並木の下では、優しい風に薄紅の花びらがひらひらと舞い、踊りの列を華やかに彩った。踊り流した後は、すぐ近くの有定第1公園に移動。即席のやぐらを囲み、輪になって踊った。公園に遊びに来た親子が、見よう見ま

福祉施設へ訪問活動、青春時代の盆踊りを懐かしむ。



鯖江の祭り、やんしまつりで子供たちと踊る。



学校や地域の運動会で、親子、先生、みんなで踊る。



ねで振り付けを楽しむ姿も見られた。やんしき歴70年という保存協会の大森良作副会長(93)は「伝統を引き

継いでいくのが私たちの使命。市民の関心を高めていきたい」と話していた。保存協会は、市文化センターなどで講座を開くなど、踊りの普及、伝承に努めている。(山内弘司)

地域のお祭りに、やんしきを出前する。飛入り大歓迎!



公民館の練習会場。たまには、浴衣を着て踊りたい!

